opusdei.org

48. 「聖なるグリアル」とは何か。聖杯とはどういう関係にあるのか。

グリアル(grial)という言葉 の語源は、gradalisあるいは gratalisである。それは古典ラ テン語のcraterつまり「コッ プ」から派生した言葉であ る。

2016/09/28

グリアル(grial)という言葉の語源 は、gradalisあるいはgratalisであ

る。それは古典ラテン語のcraterつ まり「コップ」から派生した言葉で ある。中世の騎士物語では、それは イエスが最後の晩餐で御血の聖変化 をされた杯で、後でアリマタヤのヨ セフはその杯でイエスの遺体を洗っ たとき流れ出た血と水を受け取った とされる。それらの物語によれば、 その後アリマタヤのヨセフはその杯 をイギリスに持って行った(「アリ マタヤのヨセフとは誰かしを参 照)。そして、その地で聖遺物を守 護する共同体を作り、その共同体は 後にテンプル騎士団と結びつくこと になる。

この伝説はおそらくウェールズで成立したと思われるが、5世紀の偽典である『ピラト行伝』などの古いラテン語訳から霊感を得たようである。クレティアン・ド・トロワ(12世紀)の『ペルスヴァルまたは聖杯の物語』や、ヴォルフラム・フォン・エッシェンバッハの『パーシ

ヴァル』、トーマス・マロリーの 『アーサー王の死』などのアーサー 王伝説を取り扱った作品とともにこ の伝説は進化し、広まっていった (ペルスヴァル、またはパーシヴァ ルはアーサー王の円卓の騎士、訳者 注)。聖杯は宝石に変化し、それは 一定期間天使たちによって守られた 後、聖なるグリアルの騎士団の団長 であるグリアルの王と騎士たちに委 託された。毎年、聖金曜日になると 天から鳩が下り、その宝石の上に一 枚のホスチアを置き、永遠の若さを 与え、飲食のあらゆる欲求を満たす 力を与えるという神秘的な能力を新 たにする。ときどきその石には文字 が現れ、グリアルの町、モントサル バジで永遠の幸福に呼ばれている者 の名前を示す。

この伝説は、イエスが最後の晩餐で使った杯と結びついているが、その杯については多くの古い伝承がある。それらは基本的に三つである。

最も古いのは7世紀のもので、それによればアングロサクソン人の巡礼者がエルサレムの聖墳墓教会でイエスの使った杯を見たことになっている。それは銀製で、二つの取っ手があった。

二つ目の伝えは、その杯はジェノバ の聖口レンツォ教会にあるもので、 Sacro catinoと呼ばれている。それ は皿のような形の緑のガラスで、12 世紀に十字軍によってジェノバに 持ってこられた。三つ目の伝えで は、最後の晩餐の杯はスペインのバ レンシアのカテドラルにあり聖杯と して崇敬されているものである。暗 い色をした玉髄のコップで、聖ペト 口がローマに持って来て、その後彼 の後継者たちが使っていたが、3世 紀になり迫害のため聖ロレンツォに 任された。彼はウエスカにそれを運 んだ。聖杯はアラゴンの様々な場所 を巡り歩いたあと、15世紀にバレン

シアに持ってこ	られたとし	ハうの)であ
る。			

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/iesu-shitsumon-48/ (2025/12/10)